紅葉の池塘から望む旭岳（大雪山国立公園）(1)

瀬戸内の秋の夕暮れ
（瀬戸内海国立公園）(2)

鏡池から見た戸隠連峰（妙高戸隠連山国立公園）

「草もみじ」とカラマツ林（日光国立公園）(3)

紅葉と竜頭（りゅうず）の滝（日光国立公園）(4)

COLUMN

紅葉を求めて

落葉広葉樹林が多くしかも樹種が豊富な日本は、紅葉が最も美しい国と言われています。カエデ、カツラ、ナナカマドなど、さまざまな落葉樹が微妙に変化する紅や黄の色に染まり、秋の山肌を埋め尽くしていきます。紅葉の鮮やかさは、寒暖の差や水条件などによって左右され、同じ場所でも年によって変わります。1000年も前から日本人は紅葉を求めて野山に出かけてきました。十和田湖・奥入瀬渓流や奥日光などでは、秋の紅葉の頃が一年でもっともにぎわうシーズンです。

（写真：1, 3, 4）森田敏隆　2) 高橋毅）

日本の美しい自然を体験しよう

国立公園内には日本を代表する山々があり、海があります。また、ほとんど手つかずの自然が残されているエリアがある一方で、人里に近く比較的行きやすい場所に、美しく繊細な自然を楽しめる場が多いのも、日本の国立公園の特色です。山を目指すもよし、森や川に分け入って野生体験に浸るもよし、風景に出会い、自然観察を楽しむもよし。ビジターセンターなどで提供している情報サービスや自然ガイドのサービスをうまく使って日本の自然を満喫してください。

1
2 3
4

1 湿原トレッキング（尾瀬国立公園）
2 ドルフィンスイム（小笠原国立公園）
3 バードウォッチング（上信越高原国立公園）
4 カヤック（やんばる国立公園）

国立公園利用の案内役 ビジターセンター

国立公園を訪れる人々に、自然のしくみや特徴を紹介し、その公園をよりよく理解し、楽しんでもらうための施設がビジターセンターです。ビデオ映像、解説パネル、ジオラマなどでその公園の自然を紹介するほか、今が見ごろの花、クマの出没などリアルタイムの自然情報や、おすすめの散策コースなどの情報提供を行っています。誰でも利用できる無料の施設ですので、是非ご利用下さい。

上高地ビジターセンター（中部山岳国立公園）

（写真：1）森田敏隆　2）小笠原ホエールウオッチング協会　3）NPO 法人信越トレイルクラブ）